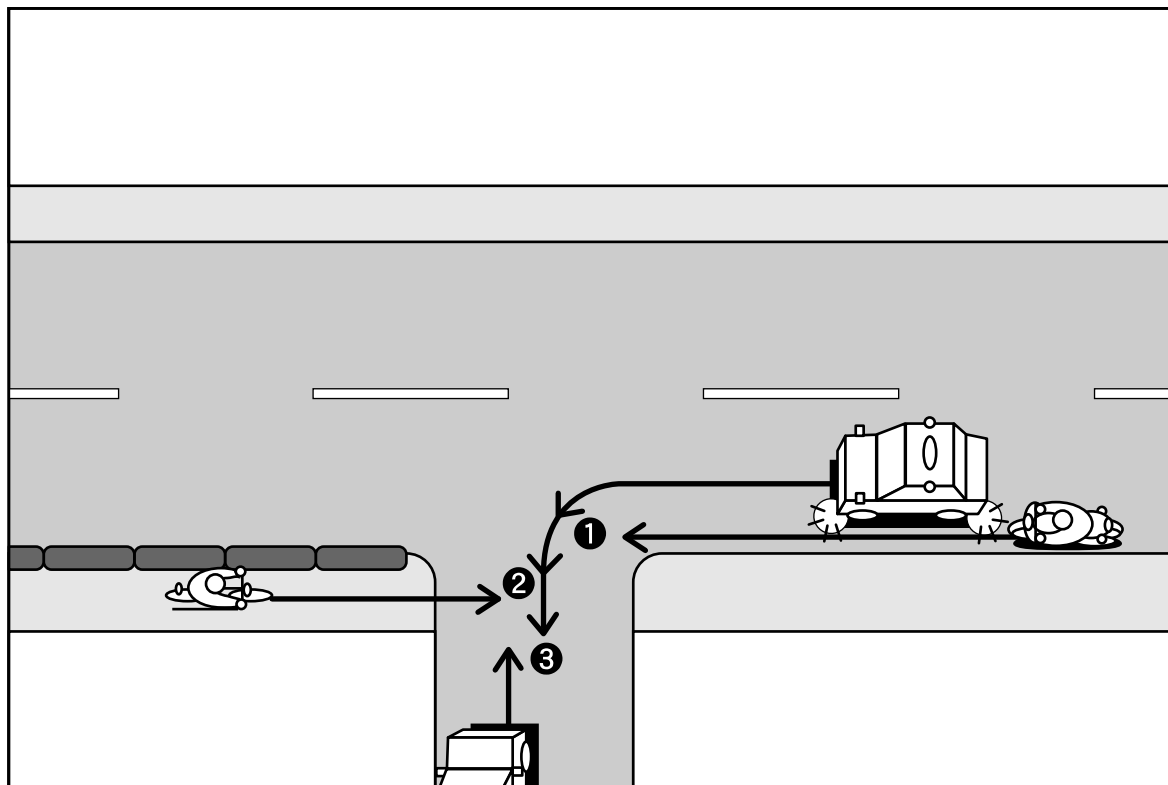


〔タクシー 3 〕 脇道への左折



1 . 主な危険要因の例

- ① 左後方から二輪車が接近しており、このまま左折を開始すると衝突する危険がある。
- ② 前方左側の歩道を自転車が行進しており、このまま左折していくと衝突する危険がある。
- ③ 左折先の脇道から出ようとしている車があり、このまま左折していくと衝突する危険がある。

2 . 安全運転の例

左折時は、必ず左後方や側方に二輪車がないかどうかを確認する。
歩道の状況にも目を配り歩行者や自転車が接近していないかどうかを確認する。

後方から二輪車が接近していたり、自転車や歩行者が歩道を通行しているときは、それらを先に行かせるとともに、左折していく先の道路の状況にも注意して徐行して進行する。

3 . 乗務員指導のポイント

次の左折の基本を再認識させる。

- ・左折時は早めに合図をして周囲の車両に左折の意思を確実に伝える。
- ・左後方、側方の二輪車の有無を確認し、二輪車が接近しているときは先に行かせる。
- ・歩道の状況、左折していく道路の状況に注意しながら徐行して進行する。
歩道と車道の間植え込みなどがあるときは、子供や子供の乗った自転車がその陰に隠れて見えにくいことがあるので注意するよう指導する。